



教育委員会だより

「多久から発信！SDGs 17」

「児童生徒会活動を通して」

令和5年度がスタートしました。今年度、多久市では131人の新1年生を迎え、計1,313人の児童生徒が各義務教育学校で学びます(令和5年3月現在)。保護者のみなさん、地域の方々と共に、子どもたちの健やかな成長を支えていきたいと思っています。

さて、前年度の市報11月号～1月号では、SDGsに関連する各学校の活動を紹介しました。制服の見直しやアルミ缶回収、平和学習など、9年生のリーダーシップのもと、児童生徒会のメンバーを中心として「持続可能な社会」を具体的な形にしています。

各校の児童生徒会活動がさらに充実したものになるように、去る3月に「児童生徒会交流会」を東原庁舎で開催しました。令和5年度の各校の活動計画について、情報交換することで、自校の取り組みを充実したものにする良ききっかけとなった様子です。

多久市では平成28年度から「コミュニティ・スクール」を導入し「学校・地域・家庭が共に力を合わせて、子どもを育てる」「地域とともにある学校づくり」に取り組んでいます。これまで新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の方々が学校での教育活動に参加していただく機会が減少していました。

感染状況も落ち着きを見せてきていますので、これまで以上に地域や家庭のご協力をいただきながら、コミュニティ・スクールを推進していきたいと思っています。

4 質の高い教育をみんなに



野の仏ギャラリー 47
子安観音立像

西多久町大字板屋

光背、立像、台が石で造られており、別造りの蓮華座の上に安置されています。頭髪を三山髻に結び上げ、頭上に光背付きの化仏を載せ、額に白毫があります。正面で両手に赤子を抱き、靴を履いています。赤子は体を衣で包まれ、顔を上方に覗かせています。髻の跡が、光背の全面に白く残っています。体部は光沢のある茶色を呈し、所々、金色に彩色した跡が見られます。



○子安観音は經典に説かれたものではなく、安産育児の民間信仰から造られたものです。

○三山髻は、髻(頭上)に束ねた髪が三つある状態です。

多久市郷土資料館長 藤井伸幸

市民文芸

突然に訪ねて来たる七十一才

中一の頃の面影見付く

尾形 節子

◆小夜更けてラジオ流れるセレナーデ

幼き児らと聴きし遙か

浦野 嘉恵

◆しだれ梅つばみふくらみ春を告ぐ

この春孫は高校生に

梶原恵美子

◆人生は永遠の愛限りなく

無限に続く 超大作だ

野崎 隆幸

◆可憐なる雑草の花と思いに

掘りゆく程に根の深さ知る

川浪 信子

◆幸せはこんなことかも春の月

おおやはな

◆厨窓開けて香り来 沈丁花

本村 則子

◆枇杷植へて三年先に馳す思ひ

武富 律子

◆ワクチンの五度目の接種

春立てり

中嶋 清子

◆春風や海に影曳く鳥一羽

富樫 明美

◆人間は冷めて地球は温暖化

西山 残月

◆自己紹介ちよつと自慢が覗いてる

松下 修

◆闘魂に燃える男の顔がい

高塚チカ子

◆がらくたかお宝なのか趣味自慢

三塩不二子

◆尻という平和が並ぶ汐干狩り

大谷 和子

川柳 《多久川柳会 互選》

俳句 《大石ひろ女選》

短歌 《麦の芽短歌会 互選》